

各位

上場会社名	佐渡汽船株式会社
代表者	代表取締役社長 小川 健
(コード番号)	9176)
問合せ先責任者	取締役総務部長 臼杵 章
(TEL)	025-245-2311)

平成23年12月期第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月18日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,145	△303	△349	△385	△27.79
今回修正予想(B)	4,774	△419	△462	△491	△35.36
増減額(B-A)	△371	△116	△113	△106	
増減率(%)	△7.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成22年12月期第2四半期)	5,243	△82	△143	△100	△7.20

平成23年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,345	△309	△342	△299	△21.50
今回修正予想(B)	3,180	△434	△452	△448	△32.16
増減額(B-A)	△165	△125	△110	△149	
増減率(%)	△4.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成22年12月期第2四半期)	3,357	△33	△74	△17	△1.27

修正の理由

1 連結・第2四半期累計期間

平成23年12月期第2四半期連結累計期間は、東日本大震災発生に伴う自粛ムードや原子力発電所放射能漏れ事故の影響により、観光客を含めた輸送人員の大幅な減少や売店・飲食部門、観光施設部門及び宿泊サービス部門の入込み数が当初見込みよりも減少いたしました。これに加え、連結上消去される内部取引額が当初見込みよりも多かったことから、売上高は前回予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、人件費の削減による売上原価、販売費及び一般管理費の圧縮に加え、内部取引額が当初見込みよりも多かったことにより、営業費用全体では当初見込みを下回ったものの、売上高の減少がこれを上回ったことにより損失が増加し、前回予想を下回る見込みであります。

上記の理由により、売上高4,774百万円、営業利益△419百万円、経常利益△462百万円、四半期純利益△491百万円に修正いたします。

2 個別・第2四半期累計期間

売上高につきましては、連結と同様の理由により、輸送人員が減少したことにより、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、船舶修繕費及び船舶燃料費の増加に伴い、運航委託手数料が増加いたしました。更に、人件費の削減による売上原価、販売費及び一般管理費の圧縮により営業費用は減少しましたが、当初見込みではカーフェリーの特別修繕引当金取崩益(44百万円)を特別利益に計上予定でありましたが、全額を目的使用により営業費用の戻し入れにしたことから、営業費用全体では当初見込みを下回りました。しかしながら、費用の減少以上に売上高が減少したことから損失が増加し、前回予想を下回る見込みであります。

四半期純利益につきましては、前述のとおり、特別利益に計上予定であった特別修繕引当金取崩益を営業費用の戻し入れにしたことから前回予想を下回る見込みであります。

上記の理由により、売上高3,180百万円、営業利益△434百万円、経常利益△452百万円、四半期純利益△448百万円に修正いたします。

3 通期の業績予想について

通期の業績予想につきましては、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、また、東日本大震災発生に伴う自粛ムードや原子力発電所放射能漏れ事故が今後の業績に与える影響は現時点においては予測が困難であることから、平成23年2月18日に公表した業績予想は据え置くことといたします。

輸送状況等、当社グループの今後の状況を鑑み、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以 上